

千葉県知事選挙・千葉市長選挙市民意識調査結果報告書 (概要版)

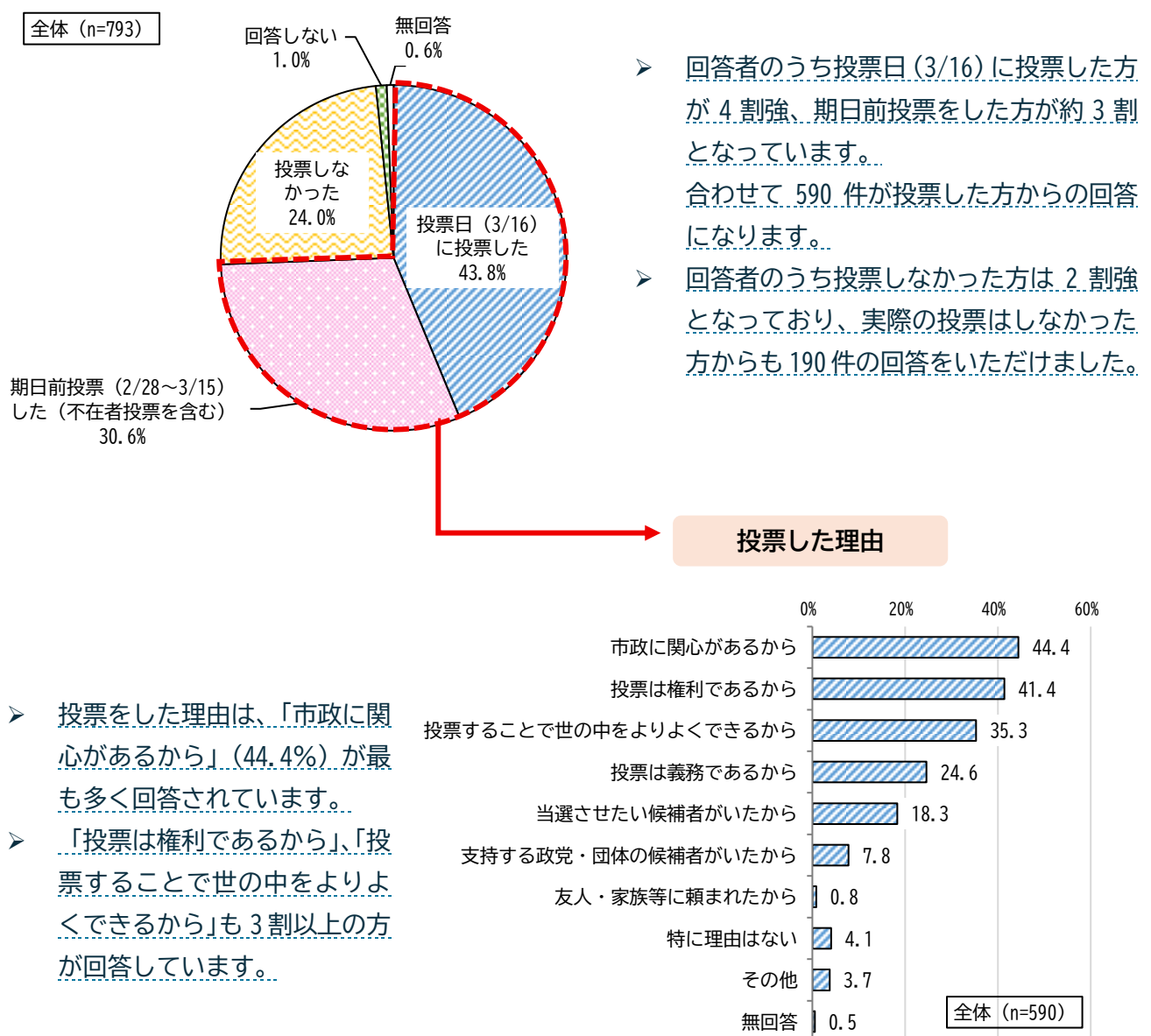
1. 調査手法

本調査は、令和7年3月16日執行の千葉県知事選挙・千葉市長選挙における有権者の投票行動等の実態を調査し、今後の選挙管理業務・選挙啓発業務の改善に資するために実施したものです。

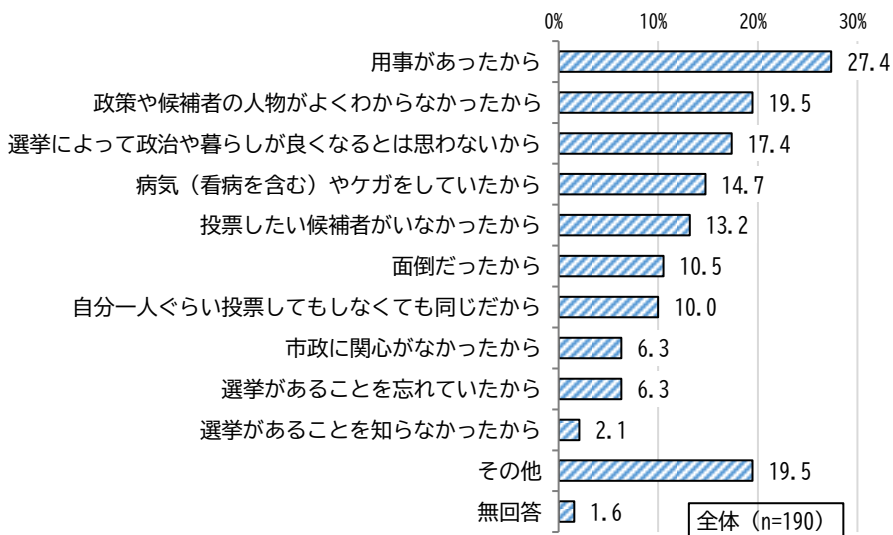
- 調査の対象：市内居住の満18歳以上の男女個人3,000人（無作為抽出）
- 調査方法：対象者に調査票を送付し、郵送またはWEBにより回収
- 調査期間：令和7年6月11日（水）～6月27日（金）
- 回収状況：有効回収数793件（回収率26.4%）

2. 結果概要

(1) 千葉県知事選挙・千葉市長選挙で投票した理由、しなかった理由（問4、問4-1、問4-3）

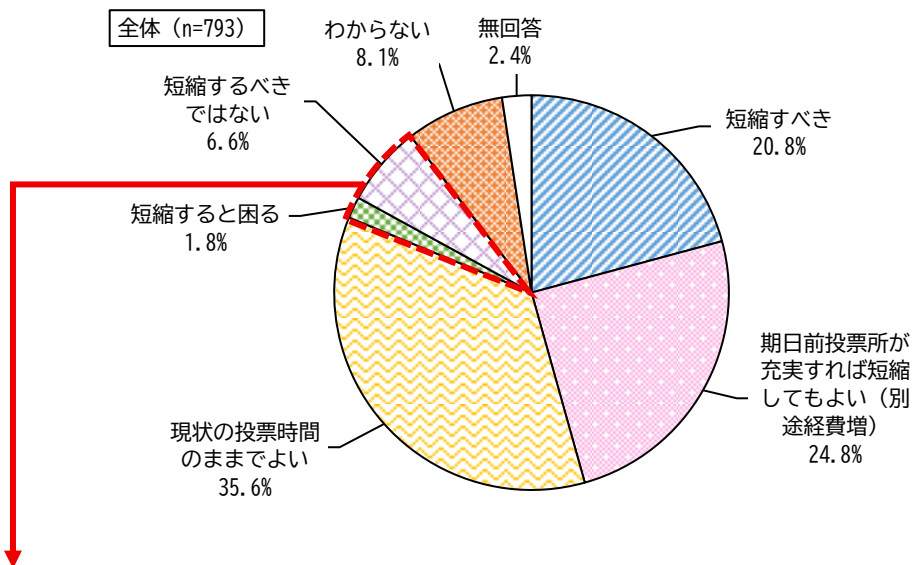


投票しなかった理由

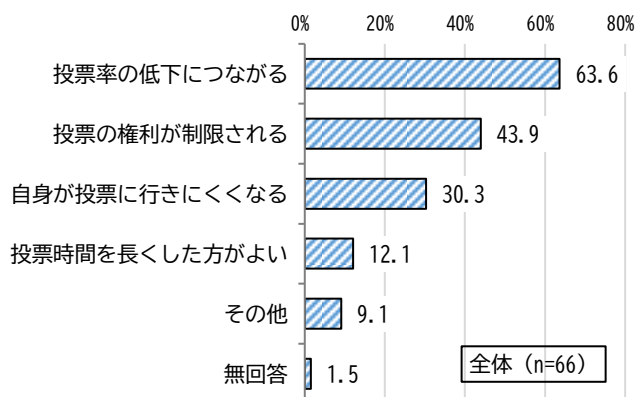


- 投票をしなかった理由は、「用事があったから」(27.4%) が最も多く回答されています。
- 「政策や候補者の人物がよくわからなかったから」も約2割の方が回答しています。
- 「投票したい候補者がいなかったから」(前回 26.1%、今回 13.2%) は前回 (R5 統一地方選挙) より減少しています。
- 「その他」の意見では「当選者がほぼ決まっているから」といった意見が多くみられました。

(2) 選挙当日の投票時間について (問 6、問 6-3)

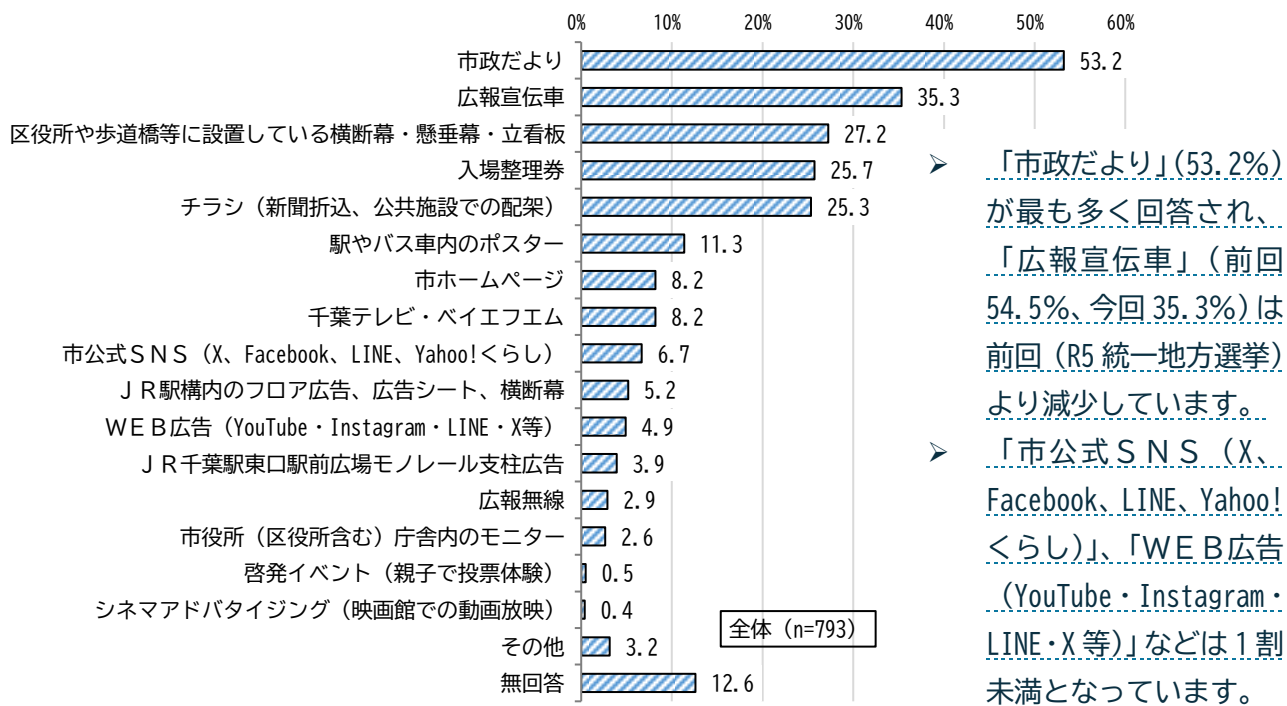


「短縮すると困る」「短縮すべきでない」理由



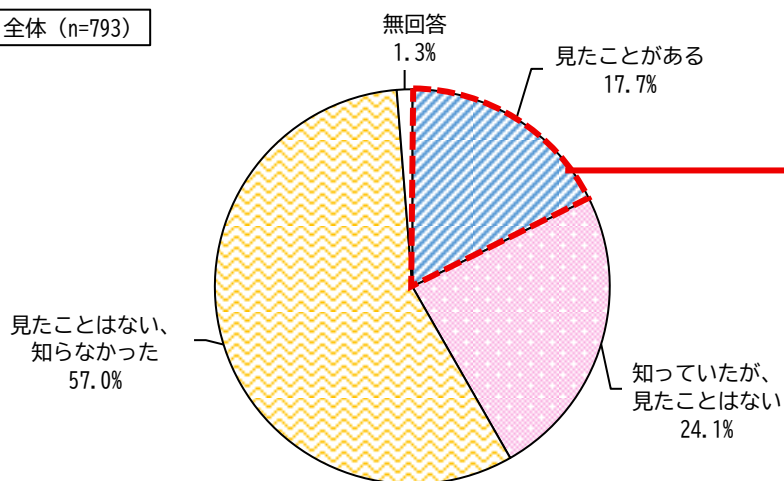
- 投票時間の短縮(午後6時まで、または午後7時まで)について、1割弱が「短縮すると困る」「短縮すべきではない」と回答しています。
- 回答理由としては、投票率の低下や投票の権利が制限されることを懸念する回答が多くなっています。また、「自身が投票に行きにくくなる」と回答した方も約3割おり、投票時間の短縮により投票行動に影響が出る可能性が考えられます。

(3) 選挙の啓発活動であなたが見たり聞いたりしたもの (問7)



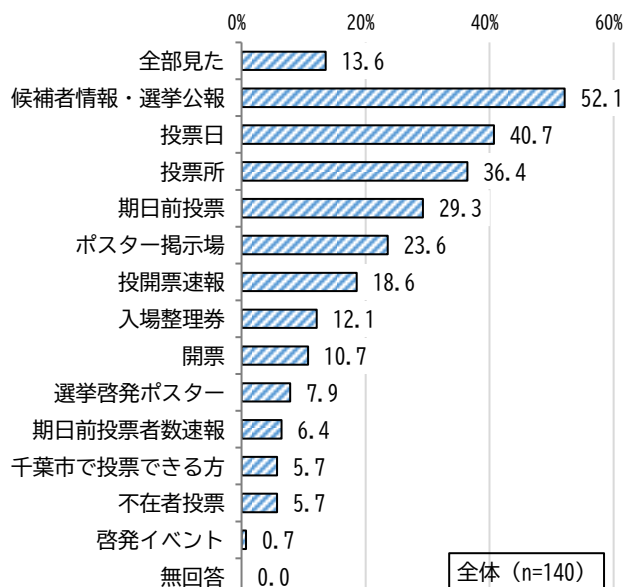
(4) 市ホームページ「千葉県知事選挙・千葉市長選挙特集」の閲覧状況 (問8、問8-1)

全体 (n=793)

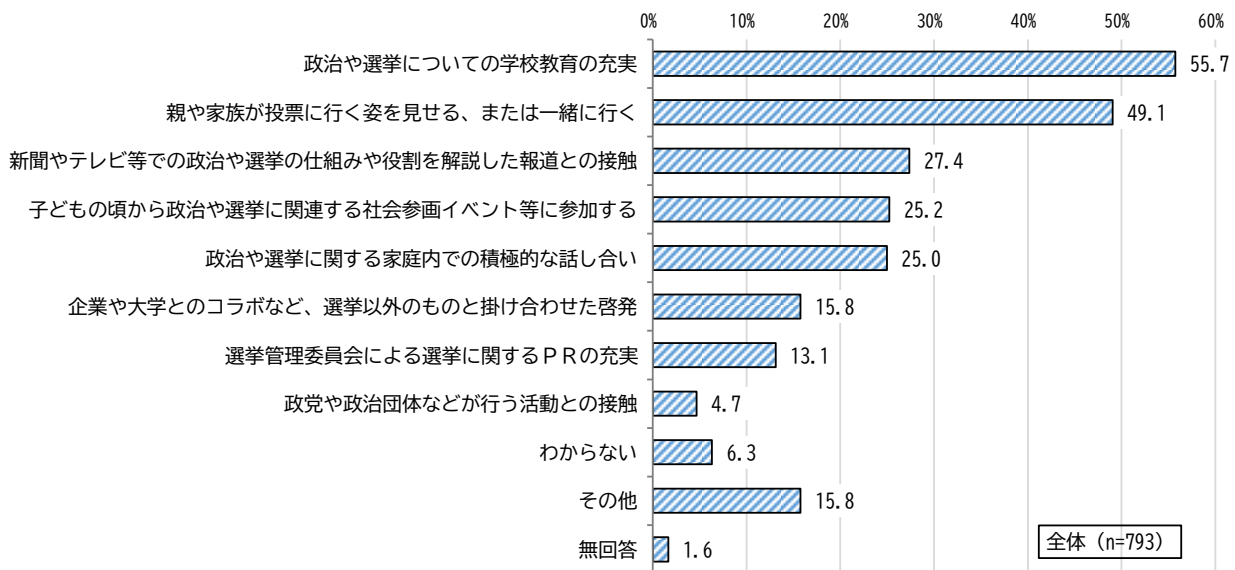


ホームページで見た内容

- 選挙特集を見たことがある人 (140 件) のうち半数以上が「候補者情報・選挙公報」と回答しています。「投票日」や「投票所」も4割前後の方が回答しています。



（５）若年層の投票率を向上させるために必要な取組み（問 10）



- 「政治や選挙についての学校教育の充実」(55.7%) が最も多く回答されています。次いで「親や家族が投票に行く姿を見せる、または一緒に行く」も約半数から回答されています。
- 「その他」の意見では、インターネットでの投票やYouTube や SNS での PR といった意見がありました。

（６）投票率を向上させるために必要な取組み（問 11 自由記述）

<記述内容を年代ごとにカテゴリ分けした件数>

	合計	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答
1. 広報の充実、候補者情報や施策内容の明確化	32	1	3	5	5	7	3	4	4	0
2. SNS での発信の強化	13	0	3	3	2	1	3	0	1	0
3. 義務化、罰則の付与	16	0	1	1	2	3	4	3	1	1
4. インセンティブの付与	31	1	1	5	3	9	5	5	1	1
5. インターネット投票	72	1	5	11	19	21	12	3	0	0
6. 政治家、立候補者の問題	24	1	3	1	2	3	5	3	6	0
7. 教育、啓発活動	53	0	2	4	9	6	11	9	12	0
8. 投票環境の整備、改善	5	1	0	1	0	0	1	2	0	0
9. 投票所、投票方法の充実（ネット以外）	39	1	5	5	5	10	6	3	4	0
10. その他	75	0	4	4	14	20	10	15	8	0

- 投票率を向上させるための取組みとして、インターネットでの投票といったどこからでも気軽に投票出来る仕組みづくりが必要であるという意見が最も多くありました。
- 期日前投票所を増やすなどの投票所、投票方法の充実や学校での教育、ポイントの付与などのインセンティブの付与といった意見も多くなっています。

千葉県知事選挙・千葉市長選挙市民意識調査結果報告書 概要版

— 令和7年7月 —

〔発行〕千葉市選挙管理委員会事務局